

I 都市計画道路現況調書の説明

II-1 都市計画道路整備状況表

都市名 —— 各市町村名、各建設管理部名、広域市町村（生活）圏区域名と都市コード

区域区分

下記区分のとおり

都市区分	区 域 の 内 容	区 分
市街化区域 設定都市	既成市街地であって令和2年D・I・Dの区域、D・I・Dの無い都市はそれに準ずる区域（A ₁ ）	1
	市街化区域より区分1の区域を除いた区域（B ₁ ）	2
	市街化調整区域（C ₁ ）	3
市街化区域 設定外都市	区分1に対応する区域（A ₂ ）	4
	おおむね10年後において、人口密度が40人/ha以上となる区域から4の区域を除いた区域（B ₂ ）	5
	都市計画区域から区分4及び5の区域を除いた区域（C ₂ ）	6

A区域・・・区分1（A₁）＋区分4（A₂） B区域・・・区分2（B₁）＋区分5（B₂） C区域・・・区分3（C₁）＋区分6（C₂）

道路種別 —— 1・・・一般国道 2・・・主要道道 3・・・一般道道 4・・・市町村道

なお、政令指定都市である札幌市の主要市道は、便宜上主要道道として集計している。

計 画 —— 本 数・・・道路種別毎に集計されているので、計では実本数より多くなっている。

延 長・・・構造物（橋梁、立体交差、トンネル等）を含めた都市計画決定延長。但し駅前広場、連続立体交差は除く。

整備状況 —— 改良済・・・道路用地が計画決定通り確保されており、自動車交通に供用されている部分の延長（暫定断面も可）

舗装済・・・改良済区間のうち車道部分が本舗装されているもの（段階施工を含む、本舗装でないものは含めない）

改良率・・・改良済延長／計画延長×100

舗装率・・・舗装済延長／計画延長×100

未改良現道延長 —— 計画巾員の0.8以上……未改良区間のうち現道巾員が計画巾員の80%を越える現道区間の延長
 計画巾員0.79～0.5……未改良区間のうち現道巾員が計画巾員の80%以下で、かつ、50%を越える現道区間の延長

計画巾員0.49～ 0……未改良区間のうち現道巾員が計画巾員の50%以下である現道区間の延長
 計画巾員 0……未改良区間のうち現道がない区間の延長

見掛の改良率 —— 0.8以上……（改良済延長＋未改良現道巾員が計画巾員の80%を越える区間の延長）／計画延長×100
 0.5以上…… {改良済延長＋未改良現道巾員が計画巾員の50%を越える（「計画巾員の0.8以上」＋「0.79～0.5」）区間の延長}／計画延長×100

II - 2 都市計画道路路線別台帳

路線名 —— 路線名と路線コード

計画巾員 —— 1路線の中で1番長い延長の巾員（m単位）

以下道路種別毎の計画決定済延長、改良済延長、舗装済延長を計上した。（km単位）

II - 3 都市計画道路構造物台帳

区域区分 —— 前掲、区域区分表のとおり

箇所 —— 区域区分、道路種別が同じ場合は集計した。

構造物工種 —— 立体交差 ……鉄道と道路の都市計画決定してある立体交差（鉄道高架を除く）

橋 梁 ……橋長15m以上で橋面積300m²以上の橋梁

鉄道高架 ……都市計画決定してある都市高速鉄道

交差点改良 ……道路と道路の都市計画決定してある立体交差点

巾員、延長、面積の単位

巾 員…… m 単位

延 長…… 10 m 単位

面 積…… m² 単位

III 都市コード表

(1) 市町村別都市コード表

(2) 建設管理部管轄区域別都市コード表

(3) 市街化区域設定都市コード表

(4) 広域市町村（生活）圏別都市コード表